



Business Report

第75期 事業報告書

2021年4月1日～2022年3月31日



代表取締役社長

曾谷 太

Futoshi Sotani

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご心配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第75期の営業の概況等をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、アフターコロナを見据えた市場動向により、一部業界では緩やかな回復の兆しが見受けられたものの、先の見えない新型コロナウイルス感染症の影響に加え、デジタル化・高速5G通信の進展に伴う半導体需給の逼迫や、原油価格高騰による材料調達コストの急激な上昇、コンテナ船の運航遅延、中国における電力制限やゼロコロナ政策によるロックダウンの影響、更に世界的な半導体不足やロシアによるウクライナ侵攻などにより、世界経済及び事業環境が混沌とし、企業業績は

極めて厳しい状況が続いております。海外市場では一部諸外国で景気の回復基調が高まってきているものの、依然として、世界経済への不透明感が広がっております。今後の経営環境については、一定の感染症対策及びワクチン接種の普及により、持ち直していくものと見込んでおりますが、本格的な回復には相当な時間を要することが想定されます。

こうした状況下で当社グループは、引き続きグループの特長を生かした事業運営とスピーディーな経営判断を心がけ、関係するグローバルな成長市場とともに、今後市場拡大が見込まれる高速5G通信・半導体・次世代自動車・自然エネルギー分野等への差別化した製商品の拡販、新規顧客の開拓、バイオマテリアルを含め

た国内外の産学連携の加速に注力しつつ、顧客に密着した生産・物流体制の更なる改善にも取り組んでまいりました。経済活動が再開する中、前年度において新型コロナウイルス感染症拡大の影響により受注が低迷した、主要取引先の自動車部品業界や製紙業界への販売は大幅に回復しました。

当社グループは、事業の重点化と他社との差別化を重要な戦略と位置づけ、引き続きグローバルな視野に立って将来的に成長が期待できる事業分野と市場に経営資源を重点的に集中させ、ビジネスの強化と事業領域の拡大に向けて当社グループの総力を結集することで、株主の皆様のご期待にお応えできるよう、努力を重ねてまいります。

経営理念

当社は積極的なビジネス展開を進め
常に知識を生かしながら
『お客様にとってなくてはならない』存在として
付加価値の高い製品 サービスを提供し また
地球環境の保全を重要な使命の一つであると認識し
真に社会に貢献できる企業となることを目指しています

SOMAR's Mission Statement
Driven by the desire to make valuable contributions to society, we leverage our business acumen to provide high value-added products, goods and services as an indispensable partner who recognizes the importance of protecting the environment.

SOMAR Corporation



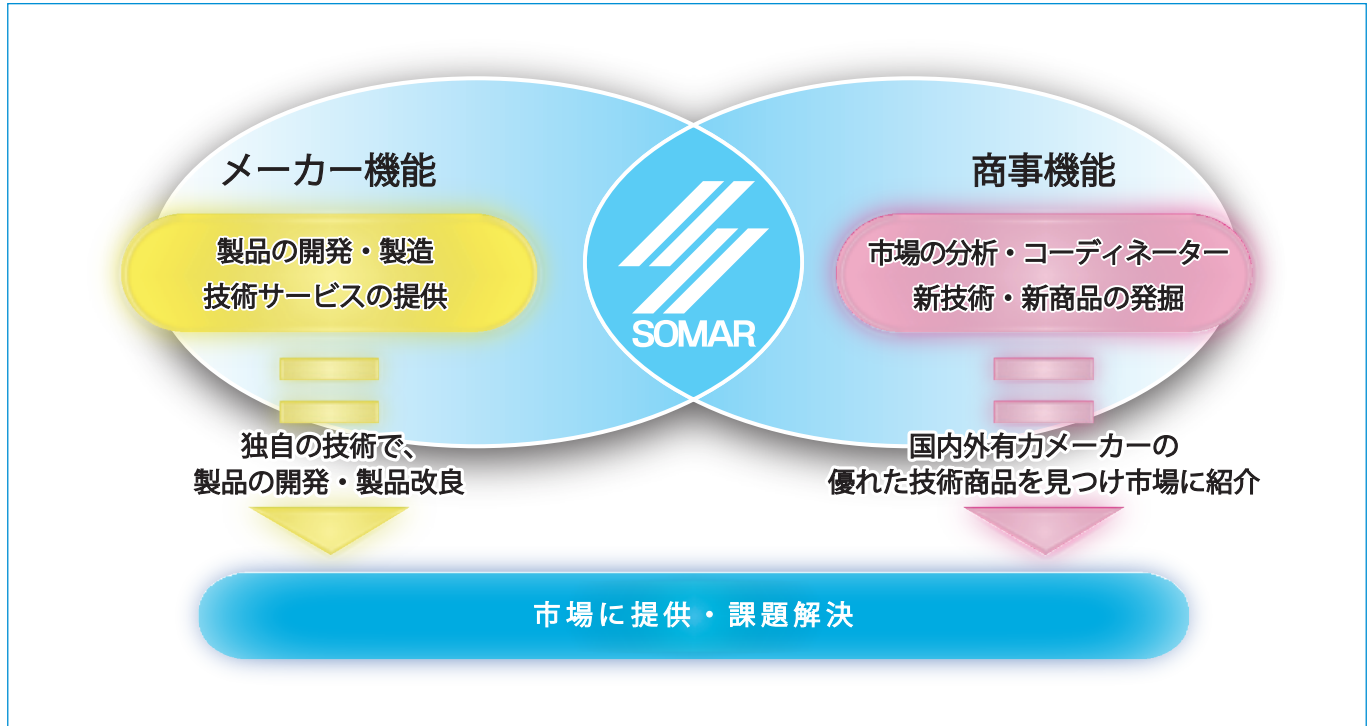
社会が求める価値観の多様化・細分化が進む中、「知恵を生かす」という経営理念のもと、社会に役立つ新たな製品や技術の創出に努めつつ、地球環境の保全や、人々の安全・安心と豊かさに繋がる次世代技術にも果敢に挑戦し、企業価値の向上、適正な株主還元に取り組んでまいります。

◆ 事業の内容

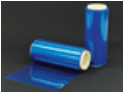


【商社とメーカー2つの顔を持つソマール】

企業が課題とするテーマが高度化・複雑化していく中、多様化する社会のニーズに応えるため、当社は「商事機能」と「メーカー機能」を併せ持つ企業として、相互の機能を有効に活用し、お客様がかかえる課題の解決に向けて、適切な提案ができるよう努めております。

今後も、お客様とともに課題を解決していく良きパートナーとして日々精進してまいります。



【事業セグメント】

	高機能材料事業	主な製商品：コーティング製品、高機能樹脂製品、電子材料、機能性樹脂等
売上高：16,560 百万円 (前年比 14.3%増)	営業利益：724 百万円 (前年比 85.4%増)	自動車部品等の関係業界においては、半導体不足や原材料価格の上昇により先行き不透明な状況が続いているものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により受注環境が悪化した前年度から市況が改善するとともに、EV関連部品向け絶縁樹脂製品の販売が伸長した結果、売上高・営業利益が増加しました。
	環境材料事業	主な製商品：工業用殺菌剤、防腐剤、防カビ剤等
売上高：4,354 百万円 (前年比 29.7%増)	営業利益：75 百万円 (前年比 550.9%増)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で需要が落ち込んだ前年度から、主要顧客である製紙会社の操業度が回復するとともに、顧客ニーズに即した販売活動等を推進したことで、段ボール等の板紙関連向け製商品の取り扱いが拡大し、売上高・営業利益が増加しました。
	食品材料事業	主な製商品：増粘安定剤（グアーガム等）、乾燥野菜、香料等
売上高：1,706 百万円 (前年比 16.2%増)	営業利益：153 百万円 (前年比 9.2%減)	家庭用加工食品向け商材の堅調な需要により、増粘安定剤や乾燥野菜の取り扱いが増加したことで売上高は増収となったものの、穀物相場や輸送コストの高騰等の影響を受け、営業利益は減少しました。

◆ 連結財務諸表

連結貸借対照表

(千円)

科目	前連結会計年度 2021年3月31日現在	当連結会計年度 2022年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	14,666,286	15,936,573
固定資産	5,539,473	5,774,958
有形固定資産	2,660,778	2,641,902
無形固定資産	112,591	111,273
投資その他の資産	2,766,104	3,021,782
資産合計	20,205,759	21,711,532
【負債の部】		
流動負債	3,930,758	*7,782,404
固定負債	3,621,930	201,964
長期借入金	3,450,000	-
資産除去債務	63,965	64,127
繰延税金負債	62,556	91,135
退職給付に係る負債	8,543	8,859
その他	36,865	37,842
負債合計	7,552,688	7,984,369
【純資産の部】		
株主資本	11,553,043	12,149,162
資本金	5,115,224	5,115,224
資本剰余金	4,473,939	4,473,939
利益剰余金	2,020,975	2,617,978
自己株式	△57,095	△57,979
その他の包括利益累計額	1,100,027	1,578,000
純資産合計	12,653,070	13,727,162
負債純資産合計	20,205,759	21,711,532

* 当連結会計年度の流動負債には、「1年内返済予定の長期借入金 3,450,000千円」が含まれております。

連結損益計算書

(千円)

科目	前連結会計期間 2020年4月1日～ 2021年3月31日	当連結会計期間 2021年4月1日～ 2022年3月31日
売上高	19,373,390	22,728,581
売上原価	16,018,809	18,776,711
売上総利益	3,354,581	3,951,870
販売費及び一般管理費	3,027,054	3,236,613
営業利益	327,526	715,257
営業外収益	100,949	181,765
営業外費用	30,530	31,802
経常利益	397,944	865,220
特別利益	253,497	-
特別損失	233,889	14,253
税金等調整前当期純利益	417,553	850,967
法人税等合計	144,415	156,124
当期純利益	273,137	694,842
親会社株主に帰属する当期純利益	273,137	694,842

連結キャッシュ・フロー計算書

(千円)

科目	前連結会計期間 2020年4月1日～ 2021年3月31日	当連結会計期間 2021年4月1日～ 2022年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	560,084	△470,060
投資活動による キャッシュ・フロー	△89,304	△401,591
財務活動による キャッシュ・フロー	△100,707	△102,128
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△44,700	202,722
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	325,372	△771,057
現金及び現金同等物の 期首残高	5,146,704	5,472,077
現金及び現金同等物の 期末残高	5,472,077	4,701,019

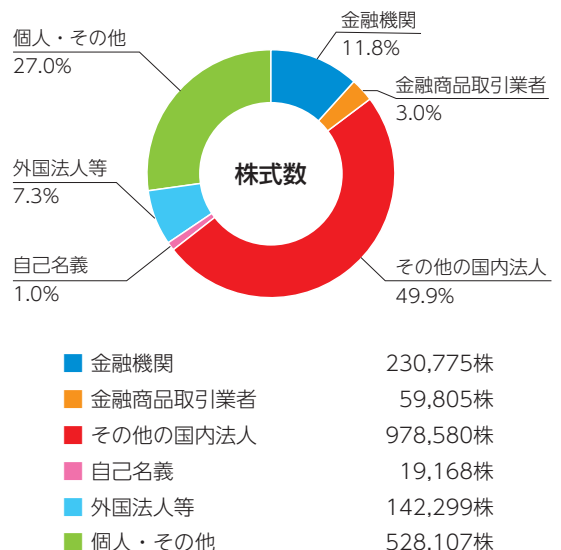
◆ 株主の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数 6,000,000株
発行済株式の総数 1,958,734株
株主数 1,504名
大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ナガツタコーポレーション	638	32.9
多摩興産株式会社	237	12.3
株式会社三井住友銀行	89	4.6
有限会社龍和	57	2.9
三菱UFJ信託銀行株式会社	47	2.4
株式会社三菱UFJ銀行	42	2.2
INTERACTIVE BROKERS LLC	35	1.8
ソマール従業員持株会	34	1.8
チルダース トーマスハミルトン	29	1.5
DBS BANK LTD. 700152	24	1.3

(注) 持株比率は自己株式(19,168株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



◆ 会社概要 (2022年3月31日現在)

商号	ソマール株式会社
英文商号	SOMAR CORPORATION
設立	1948年2月26日
資本金	5,115,224,639円
発行済株式数	1,958,734株
従業員	335名 (連結457名)

◆ 役員 (2022年6月28日現在)

代表取締役社長	曾谷 和久
取締役	鶴田 正樹
取締役	小林 正成
取締役	牛尾 成次
取締役	三村 撰昇
取締役	坂本 昇之
取締役	春日 孝亨
常勤監査役	山崎 晴信
監査役	亀山 玲史
監査役	中島 玲史

(注) 1.取締役坂本昇氏及び取締役春日孝之氏は、社外取締役であります。
2.監査役亀山晴信氏及び監査役中島玲史氏は、社外監査役であります。

◆ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 公告の方法	東京証券取引所 電子公告により行う 公告掲載URL http://www.somar.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

◆ ホームページのご案内

当社は、株主・投資家の皆様及び一般の方々に当社の事業活動についてご理解いただくため、ホームページ内で、事業活動、製品情報、CSR関係情報等の様々な情報を掲載しております。

当社ホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.somar.co.jp/>

